

トークセッション ～コロナ禍を経て・・・次の風を読む～

新型コロナウイルス感染症の拡大により「三密回避」や「テレワーク」など新しい生活様式が生まれ、消費者の意識・行動に変化がありました。新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行し、アフターコロナへの動きが強まる中、制限のない社会での消費動向はどう変わのでしょうか？

コロナ禍で変わった消費者ニーズを振り返るとともに、消費者の変化した意識が作り出す今後のトレンド、そして、地域の資源を活用した商品づくりについて、専門家たちが熱く語ります。

日時 令和5年7月7日（金）14:00～16:00

場所 香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室（定員50名）

参加
無料！

※申し込みは先着順に受付し、定員になり次第、締め切らせていただきます。



【講師】 こだわり食品きしな屋 代表 岸菜 賢一 氏

「旅するバイヤー」として全国各地の生産者を自らが直接訪ねて見つけた、こだわりの逸品を紹介する食を中心としたセレクトショップを大阪府内で3店舗展開。バイヤーやエンドユーザーの求めるリアルな声を反映した商品企画から、製造に関するアドバイス、販路開拓までトータルで支援できる経験と専門的知識を持つアドバイザーとして全国各地で活動している。

【講師】 有坂 兼司 氏

(株)丸広百貨店で現場からバイヤーまでを経験した後、メトロキャッシュアンドキャリージャパン(株)を経て、お米を中心とした食のセレクトショップの立ち上げに参画し首都圏を中心に展開。現在は、都心に大庭園を構える企業で、世界に向けた日本食文化発信のための商品開発を主導。全国の商談会へ積極的に参加し、商品開発指導やブラッシュアップも行う。



【講師】 川端 恵子 氏

サザビーリーグ「アフタヌーンティー」にて、雑貨商品企画・バイヤーに従事し、新ブランド立ち上げに参画。現在は全国チェーンのライフスタイルショップにてMD・バイヤーとして活動する傍ら、雑貨メーカーの商品企画開発のアドバイスなども積極的に行う。

【ファシリテーター】 ルウツ株式会社 代表取締役 竹内 哲也 氏

小売・通販での経験を軸に地域商品の商品開発・販路開拓のコンサルティング会社を創業し、地元である香川県を軸に全国各地からの要望に応える。内部では気づきづらい「魅力=Roots」、「新販路=Routes」という2つのルウツに基づいた、売れる体制づくりを支援している。



参加申し込み方法

左のQRコードを読み取り、表示される参加申込フォームに必要事項をご入力ください。

申込締切：令和5年6月26日（月）

※お申込みに際し、ご記入いただいた個人情報は、本件のみに使用し、第三者に提供することはありません。

【お問合せ】 公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部ファンド事業推進課 TEL (087) 868-9903
〒761-0301 高松市林町 2217-15 香川産業頭脳化センタービル2階 <https://www.kagawa-isf.jp/>

※このトークセッションは、中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して実施します。